

NO. 60-6

鋼橋技術研究会
海外橋梁技術研究部会
架設技術研究分科会

昭和60年度報告書

昭和61年3月

1. 研究活動概要

海外橋梁技術研究部会の活動目的は以下のとおりである。

- 1) 海外橋梁の設計・製作・架設に関する諸技術を調査研究する。
- 2) 海外技術の社会的背景やプロジェクトの進め方について調査研究する。
- 3) 海外技術と国内技術を比較検討し、我国の技術へのフィードバックと海外物件対応への糧とする。

この活動目的の下に架設技術研究分科会では、4回の分科会を開催し、海外技術雑誌を中心に架設技術関連の技術資料を収集して架設構造物設計・工事施工方法などの情報に注力しながら調査研究を行ってきました。そこで60年度に収集した技術情報を分科会の成果としてここに報告します。

2. 文献調査の範囲

1) 内 容

当分科会の主旨から、調査内容として下記の項目に重点を置くこととした。

- ① 架設機材
- ② 架設工法
- ③ 架設機材の設計思想
- ④ 架設系の本体の安全性に対する設計思想
- ⑤ 架設に関する基準の有無
- ⑥ コンサルタントの役割
- ⑦ プロジェクト完遂のために必要なノウハウ（施工管理）
- ⑧ 外国企業のプロジェクト対応ノウハウの習得
- ⑨ 地域特性の有無（アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパ…）